

1 掃除を自分でする塗料

外壁は毎日、雨風にさらされています。雨や風で運ばれた汚れの粒子が、細かい壁の凹凸に入り込んでこびりついたものが汚れです。広い面積についた頑固な汚れはなかなか掃除できませんが、最近の塗料には自分で自分の汚れを落としてくれる優れものが登場しました。この塗料なら掃除の手間いらずで、いつも美しい外観が保てます。



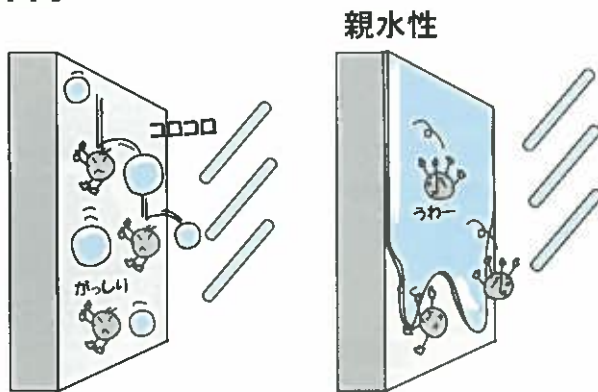
理由2

掃除をしなくても
キレイな外観が長続きます

自分で汚れを落とす塗料が外観維持のポイントです

2 雨水を利用して壁を掃除

自分で汚れを落としてくれる塗料とは「親水性」という水をはじく性質とは逆の水になじみやすい力を利用して雨の水分で汚れを流し落としてしまう仕組みです。雨が降るたびに雨の水分が壁にこびりついた汚れを綺麗に流して掃除してくれる嬉しい機能です。また塗膜表面の静電気を低減することで汚れが付着しにくい塗料も登場しました。



3 太陽の光が汚れを分解

太陽や蛍光灯などの光が当たると、表面で化学反応が起こり汚れの元になる物質や細菌などを分解する作用を光触媒といいます。この技術を利用した塗料も登場してきました。この塗料は汚れ自体をどんどん分解してくれますので壁はいつもキレイです。こうした新しい塗料の登場で長期間住まいの美観を保つことができるようになりました。



知っておきたい豆知識



壁の汚れの原因にカビや藻の発生がありますが、これらは汚いだけでなく外壁自体を痛めるうえ健康にも良くありません。最近の外壁用塗料はカビや藻の発生を防止する抗菌機能を備えているものもあります。抗菌塗料とは、食品工場や病院などの医療施設用に作られた内装用の塗料を外壁用に応用したものです。ただ、抗菌効果は2〜3年ほどのものが多く、過信は禁物で、普段からまめな洗浄を心がけることが良いでしょう。

2〜3年が一般的
抗菌効果は